

令和元年度 調布市立第八中学校 学校経営計画

学校教育目標	○自ら考え行動する生徒 ○思いやりのある心豊かな生徒 ○心身共にたくましい生徒
目指す学校像(ビジョン)	○「自律的活動能力の育成」・・・主体的・対話的で深い学びを通して、自ら考え行動する生徒を育成する。 ○「道徳性、人間関係形成能力の育成」・・・人権教育及び道徳教育を重視し、思いやりのある心豊かな生徒を育成する。 ○「創造的思考力の育成」・・・学校行事・部活動・キャリア教育等を通して、心身ともにたくましい生徒を育成する。
本校の現状と課題	○学校選択制において、地域・保護者から信頼され魅力ある学校づくり（土曜学習部の継続、部活動の拡充、各学校行事の活性化、漢字検定・英語検定の継続実施） ○校内通級教室拠点校として他校との連携及び指導力の向上（特別支援校内委員会の充実、巡回教員の指導力の向上、担任・保護者との面談による生徒理解の充実） ○地域学校協働本部をはじめPTA、地域の健全育成団体、まちづくり協議会、近隣小学校との連携・協力（地域諸会議の活用・連携、学校施設開放の充実、学校情報の外部への発信）

領域	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	評価指標
学力向上	学習意欲を喚起し、確かな学力の定着を図り、主体的に探究する力・課題を解決する力を養う。	授業規律を確立し、 <u>基礎的・基本的事項の確実な定着を図る。</u>	<ul style="list-style-type: none"> ・チャムで始業し、提出物・忘れ物・私語厳禁等の指導を徹底し、授業規律を確立する。 ・地域人材を活用し、定期考査前自習教室、土曜学習部を開催する。 ・少人数・習熟度別指導（数学、英語）、読書月間、漢字検定・英語検定等を活用する。 	※ 数値目標が可能な項目について設定する 少人数・習熟度別指導（全学年数学・英語）、読書月間（年2回）、定期考査前自習教室（年7回）、土曜学習部（年20回）、漢字検定（年3回）、英語検定（年3回）
		教員の指導力の向上を図り、生徒一人一人の学習意欲を向上させる。	<ul style="list-style-type: none"> ・「授業改善推進プラン」、「調布ベーシックプラン」を作成し、授業改善へ繋げる。 ・校内研修会により授業力の向上を図る。（年4回/教科指導2回・特別支援教育2回） ・国、都、市の学力調査の結果や生徒による授業評価アンケートを実施し、指導上の課題を明確にして指導力の向上を図る。 ・学校公開とその際の保護者アンケートを活用し、授業改善に繋げる。 	校内研修会（年4回中、教科指導2回、特別支援教育2回）、授業改善推進プラン（1学期）、調布ベーシック・プラン（2学期）、授業評価アンケート（年2回）、保護者授業アンケート（通年）
健全育成	生活指導・進路指導・安全指導の充実を図り、豊かな心を持ち、自他を尊重する力を養う。	<u>基本的な生活習慣を定着させるとともに、関係機関等と連携し、いじめ防止の徹底を図る。</u>	<ul style="list-style-type: none"> ・始業時に全教員による校内巡回および教室整備を実施する。あいさつ運動を実施する。 ・2人担任制（OJT）等により複数の目で生徒を観察し、いじめの未然防止、早期発見、早期対応を図る。 ・問題行動に対して、関係諸機関と連携し、ケース会議等を迅速に実施する。 ・特別支援C0やSCと連携した、きめ細やかな教育相談を展開する。 	全教員による巡回指導（毎朝・通年）、あいさつ運動（毎週月、年2回週間）、2人担任制（2学級）、SNS学校ルールの策定（5月）、いじめ対策委員会（週1回）、SC全員面接（全学年・年1回）
		発達段階に応じ、系統的・計画的にキャリア教育を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・総合的な学習の時間の指導内容を精査し、3年間を見通した指導計画を作成する。 ・1年の職業調べ、2年の職場体験、3年の進路選択と系統的・発展的に実施する。 ・体験活動等でのマナー指導、礼状書き等の事後指導を、外部講師を活用しながら計画的に実施し、学習発表会で発表する。 	指導計画の改善（5月末）・検証（2月）、職場体験（5日間）の受入事業所の確保、人権作文・税の作文への全校参加（8月）、租税教室（年1回）、マナー講座（年1回）
健康・体力づくり	特別支援教育や食育等の充実を図り、心身ともに健康で、社会に貢献できる力を養う。	特別支援教育の充実を図るとともに、オリンピック・パラリンピック教育や部活動等により、体力の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・校内通級教室とリソース教室を活用する。また、特別支援C0を中心とした特別支援教育校内委員会により、生徒個々の支援方法を検討する。 ・SC、SS、特別支援教室専門員等を活用し、個に応じた指導・支援を行う。 ・オリンピック・パラリンピック教育推進校として、オリンピアによる講演会を実施する。全教科内でオリパラに関する授業を実施する。 ・部活動、水泳教室、ダンスオーデイション、体力向上週間での持久走の実施により、運動量を確保する。 	特別支援教育校内委員会（週1回）、オリパラ講演会（年1回/1月）、教科におけるオリパラ教育（年35時間）、薬剤師による喫煙・薬物乱用防止教室（各1回）、部活動加入率（95%以上）、水泳教室（夏季休業中5日）、持久走（5日）
		薬物乱用防止教育、食育等を充実させ、健康増進、食物アレルギー事故防止の意識啓発を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・喫煙・薬物乱用防止教室を実施する。 ・食育、保健指導のほか、生徒会活動（保健委員会・給食委員会等）を通して、健康増進や食物アレルギー事故防止に対する教員・生徒・保護者の意識を啓発する。 	喫煙・薬物乱用防止教室（年1回）、食育（通年、給食便り）、学校保健委員会（年2回）、アレルギー研修（年1回）、
保護者・地域との連携	保護者・地域との連携を深め、開かれた学校づくりを目指す。	保護者、地域の小学校、地域の健全育成団体等との連携をより一層深め、学校への協力体制を構築する。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域教育懇談会、小学生による中学校訪問、小学生対象の地域行事への教員と中学生の参加、小・中教員による合同研修会、中学生による小学生へのダンス発表を実施する。 ・ホームページや学校だよりにより、学校情報を外部へ発信する。健全育成地区委員会やまちづくり協議会で学校だよりを配布し、学校の様子を伝える。 	小学生による中学校訪問（6月）、ミドリンキャンプへの教員と中学生参加（30名）、小・中教員による合同研修会（8月）、中学生による小学生へのダンス発表（10月）、健全育成地区委員会（月1回、2地区）、まちづくり協議会（月1回）
特色ある教育活動	基礎的・基本的な学力の定着を図り、主体的に学習する態度を養う。学校行事等の体験的な活動を通して、創造力を育み、自己有用感を高める。	地域学校協働本部との連携・協力を通して、ボランティアによる授業支援や学習教室を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・全教員（各回3名程度）と学生・シニアボランティアによる土曜学習部（国語・数学・英語）を実施する。 	土曜学習部（年20回）、土曜学習部の参加生徒が「学力向上に役立った」と思う割合80%以上
		学校行事等のねらいを明確にし、一層の充実を図り、生徒一人一人が活躍できる場面を与える。	<ul style="list-style-type: none"> ・体育祭、学習発表会（ダンスオーデイション）、合唱コンクール、校外学習、移動教室、修学旅行等を通して、生徒の自主的な活動を充実させるとともに、一人一役は必ず与える。 また、地域のキャンプ（ミドリンキャンプ）など各種地域行事へ参加協力する。 	体育祭（5月）、修学旅行（5月）、ミドリンキャンプ（7月/1泊2日）、学習発表会（10月）、移動教室（1月）、合唱コンクール（3月）